

大阪 PCB 廃棄物処理事業だより (No.67)

◎PCB 廃棄物の処理状況について

操業開始（平成18年10月）から令和3年9月30日までの処理実績は下表のとおりです。

処理状況 対象物	処理実績（※登録台数比率）	
	近畿2府4県【総数】	大阪市【内数】
トランス類	2,743台（99.9%）	1,267台（100.0%）
コンデンサ類	87,646台（98.6%）	16,983台（98.0%）
PCB油類	2,465本（93.1%）	801本（97.0%）

※登録台数は令和3年9月30日現在の数値。

◎夏期定期点検の実施について

当事業所では、安全で確実な PCB 廃棄物の処理を継続するため、毎年8月から9月の概ね2か月間操業を停止し、PCB 廃棄物処理施設の各種設備・機器の点検・分解整備、洗浄、計画的な更新・経年劣化対応や排気処理設備の活性炭交換等を行っています。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、定期点検に従事する関係会社の社員に対しても、安全教育を実施し、毎朝の体温測定、マスクの着用、手洗い・うがいの励行による感染予防や熱中症対策等について教育を行い操業に支障が生じないよう円滑な作業の実施に努めています。

なお、夏期の定期点検に加え、毎年1月から2月の冬期にも小規模な点検を行い、安全・安定な操業に努めています。



定期点検作業関係者の安全教育



定期点検作業の状況

◎PCB 廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会の開催について

令和3年8月31日、第37回PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会（JESCO主催、主査：酒井伸一公益財団法人京都高度技術研究所副所長（前京都大学環境科学センター長））を対面会議とテレビ会議システムの併用により開催しました。



当事業所からは、大阪PCB廃棄物処理事業の「操業状況」や「処理計画」、「長期保全の取り組み」等についてご報告しました。

操業状況としては、トランス類・コンデンサ類・PCB油類等の処理進捗状況やこれらの処理に伴い二次的に発生する廃棄物の処理状況のほか、環境モニタリング等の実施状況、処理手間物への取り組み状況、期限内処理に向けた高濃度PCB廃棄物の掘り起こし・総ざらいの取り組み状況、また、長期保全の取り組みとしては、設備点検・改善の実施状況や処理完了迄に実施すべき長期保全計画の見直し状況等をご説明しました。

委員からは、行政が行っている掘り起こしへの協力継続や、通常の処理に比べて手間や時間を要するPCB廃棄物の処理完了に向けて、引き続き努力することなどのご指導をいただきました。

今後も、本事業部会での有識者のご意見等を踏まえ、安全・確実な処理を進めてまいります。

◎特別管理産業廃棄物（PCB 廃棄物）処分業許可の更新について

当事業所が行っているPCB廃棄物処理事業については、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）に基づき、大阪市長から特別管理産業廃棄物処分業許可を取得して行っています。

前号（No.66号）でご報告しておりますが、この許可は更新制で、許可の期限は令和3年8月30日となっていたため、大阪市に許可の更新申請を行い、8月31日付けで許可が更新されました。

当事業所では、引き続き更新された許可の下、大阪事業エリア（近畿2府4県域）の高濃度PCB廃棄物の処理完了に向けて、安全・適正な処理に努めてまいります。



JESCOをもっと詳しく?!
環境報告書をご覧ください👉



☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため見学の受入れを見合わせている可能性があるため、当社のホームページでご確認下さい。また、予約見学時は総務課へご連絡下さい。

【問い合わせ】 TEL：06-6468-0575
ホームページ：<https://www.jesconet.co.jp>



【発行】 中間貯蔵・環境安全事業（株） 大阪PCB処理事業所
総務課／安全対策課／運転管理課 06-6468-0575
営業課（弁天事務所） 06-6575-5575